

おらほの病院

91

～あたたかな医療をめざして～

諏訪中央病院 リレーコラム

本日は肝臓についてのお話です。今年度も健康診断を受けられると思いますが、血液検査結果を詳しく見られたことはありますか。

一般的な健康診断の血液検査の項目に「ALT（アラニンアミノトランスフェラーゼ）」というものがあります。肝細胞が何らかの原因で傷つくと細胞内のALTが漏れ出し、血管内に移行して数値が高くなります。ALTは他の臓器にはあまり含まれていないため、この数値をみることによって肝臓の健康度を確認することができます。

日本肝臓学会が、2023年6月に奈良宣言「STOP CLD（慢性肝臓病）」を出し、「ALT値が30U/Lを超えていたら、かかりつけ医を受診しましょう」と呼びかけています。本宣言は、血液検査で広く測定されているALT値を指標として、健康診断等

奈良宣言2023

でALTが30を超えた場合はまずかかりつけ医等を受診し、必要があれば消化器専門医との診療連携による肝疾患の早期発見・早期治療に繋げることを目的としています。

肝疾患を拾い上げる数々の方法の中で「ALT30超」が選ばれた理由として次のことを挙げています。

①シンプルで健診や一般診療で汎用



諏訪中央病院

外科部長

近藤 優

近藤 優 (こんどう・すぐる)

外科部長。日本外科学会(指導医・専門医)、日本消化器外科学会(指導医・専門医)、日本消化器病学会(指導医・専門医)、日本消化器がん検診学会(総合認定医・胃認定医・大腸認定医)。2019年4月より諏訪中央病院。

Stop ALT over 30 U/L
Chronic liver disease 慢性肝臓病
第59回 日本肝臓学会総会 奈良宣言2023
ALT>30で かかりつけ医を受診しましょう

されている

②英文も含めて基準値に関する文献が多数ある

③我が国の特定保健診査(特定健診)および人間ドック学会の基準値はALT30以下と示している

④特定健診や人間ドック学会の基準値は日本消化器病学会肝機能研究班意見書に基づいて決定されている

これまで肝臓病が多かったウイルス性肝疾患(B型肝炎やC型肝炎)は激減しており、近年は生活習慣病が原因である脂肪肝(非アルコール性脂肪肝炎やアルコール性肝疾患)が増えていきます。肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、知らず知らずのうちに状態が悪化し、肝硬変や肝臓がんになるため注意が必要です。

健康診断などで血液検査を行った際はALTを確認し、30を超えていた場合はかかりつけ医の先生にご相談ください。

「奈良宣言2023」について詳しく知りたい方は日本肝臓学会の奈良宣言特設サイト(<https://www.jsh.or.jp/medical/nara-sengen>)がありますのでインターネットで検索して頂ければと思います。

次回は5月5日掲載予定
(題字は鎌田實名誉院長)